



幸手市議会議員
本田ようこ

〒340-0164
幸手市香日向3-10-16
TEL・FAX 0480-43-8988
https://twitter.com/yokogaugoku
http://honda-yoko.com/

幸せの手

本田ようこ後援会

一般質問より

避難所に一番大切な「トイレ」の対応が進まない！

災害時、断水になった水洗トイレは使えますか？

汚物を流す大量の「水」はどこにありますか？

たくさんの方が集まる避難所では「簡易トイレ」の準備には時間や日にちが

かかります。また、汚物の入った袋は、どこに保管されるのでしょうか？

臭いもあります。人目にはさせません。一体どこに保管すればよいのでしょうか。

いつも使っている水洗トイレが
使えなくなる可能性があります



電気がつかない



水がでない



水が流せない

幸手市の防災倉庫にある備蓄

- ・和式を洋式にするタイプ 34
- ・洋式にかぶせるタイプ 18
- ・ワンタッチトイレ 1,224
- ・1人用組立式 8
- ・6人用組立式 2
- ・自動のタイプ 32
- ・トイレ用テント 10
- ・便袋 23,200

【本田の主張】

1. 避難所のトイレは、どんなことが起きても使えるトイレ、誰でも使えるトイレの準備が必須です。
2. そこで発生する「汚物」の保管。避難所でその臭いがしては、生きるために必要な食事も喉を通りません。
3. トイレを我慢したら、体調を崩し病気に繋がってしまうこともあります。

以上のことから、早急に対応・準備していただくよう要望をしました。ご家庭での避難もあります。断水の際にトイレが使えるかどうか、必要数の便袋などの準備や「汚物の保管場所」の検討も必要です。

幸手市本庁舎の耐震補強が県で一番遅れている？

防災拠点となる庁舎の耐震化状況（市）

総務省・（令和2年10月1日現在）

		防災拠点となる庁舎			災害対策本部が設置される庁舎の耐震化状況	代替庁舎指定の有無とその耐震化状況		その後の対応
		全棟数	耐震化済棟数	耐震率				
1	秩父市	5	4	80.0%	○	有	○	H29 本庁舎完成
2	深谷市	3	2	66.7%	○	有	○	R2 新庁舎開庁
3	越谷市	3	2	66.7%	×	有	○	R3 新本庁舎完成
4	蕨市	2	1	50.0%	×	有	○	R3 解体、R4 着工
5	入間市	5	3	60.0%	○	有	○	R3 実施計画
6	志木市	2	0	00.0%	×	有	○	R4 実施予定
7	八潮市	1	0	00.0%	×	有	○	R5 実施予定
8	幸手市	3	2	66.7%	○	有	○	未定



幸手市本庁舎入り口

上記の表は、前回3月議会一般質問で同じ会派新政会の小林英雄議員が提出した資料をまとめたものです。

幸手市は耐震補強においても子どもを優先に、学校施設等いち早く対応してきました。しかし、最後に残るのは、幸手市本庁舎です。耐震調査では耐震補強ではなく「建て替え」という診断を受けながら、まだ手つかずです。

台風時の「雨漏り」、本庁舎入り口天井の落下、20人くらいしか入らない厚生室（職員用食事室）では職場の机での食事もあり前です。職員ロッカー室も着替えるスペースはなくロッカーとただの通路しかありません。

また、写真をご覧いただくとおわかりになると思いますが、大地震が起きれば、この2本の柱では2階市長室、3階議場を支えることは出来ません。さらに災害時に市民のために動く多くの「職員の命」を誰が守ってくれるのでしょうか。

最大の被害者は幸手市民となってしまいます。みなさま、ご理解ください。そしてご協力をお願いします。

国内各地で地震が発生し大地震はいつ起きるかわかりません。余裕はありません。早急の対応を要望です！！！！

地震…と心配するよりも、まずは『備え』で安心を！

その都度、地震とこわがっていないで、安心のための「備え」を少しずつでも進めましょう。

今まで本田ようこ通信において、何度も防災備蓄については書かせていただいたので、視点を変えて提案します。

1. 火事を出さないために ⇒ 感震ブレーカー

大地震が起きたとき、一番こわいのは2次災害である「**通電火災**」です。停電が復旧し、通電した際に倒れた電気ストーブや屋内配線のショートが原因となり電気火災が発生します。

阪神淡路大震災でも原因が特定できた建物火災の60%が通電火災でした。その通電火災を防いでくれるのが「**感震ブレーカー**」。一定以上の震度を感じると電気を遮断、再び通電しても電気は流れないようにしてくれます。

災害時ブレーカーを落とし忘れても外出中でも、感震ブレーカーで自宅から火事を出すことがなく安心です。価格は分電盤に組み込まれた高価なものから、てこの原理で遮断する手頃なものなどいろいろです。



レバー式
震度 5+・6- (設定) で作動



ボール式
震度 5+ で作動

2. 自分を守るために ⇒ ヘルメット・ライト・ホイッスル



ヘルメット：地震が起きたときや避難するときなどに、建物の倒壊や危険な落下物などから身を守るために必要です。人間の急所である頭に落下物が直撃すると、最悪の場合「命」を落としてしまうことになります。

ライト：あかりのない暗闇では動くことさえ出来なくなります。

ホイッスル：恐怖のあまり声を出せなくなることもあります。自分の存在を知らせる手段としてホイッスルは防犯にも役に立ちます。

それぞれをすぐ使える場所に置いておきましょう！



ひとり暮らしの高齢者のみなさまへ

災害時にひとりでも取りこぼさないために。

幸手市ではひとり暮らしの高齢者のみなさまに、緊急連絡システムやふれあいバスの旅事業、配食サービス事業、安心カード配布事業、傾聴ボランティア訪問事業などの支援があります。

手続きなどがめんどうと思っている方、苦手な方、本田ようこと一緒に手続きをしませんか。一緒なら心配することもなく、簡単かもしれませんよ。

お気軽にご連絡ください。

【お願い】

東日本大震災で、幸手市老人福祉センターにてボランティアをなさった方々の情報を探しています。

東日本大震災から十数年が過ぎ、当時幸手市でも百数十人の方々を支援しましたが、残念ながらその記録が市役所には残っていません。次の世代への貴重な記録や資料として残すため、もし何かご存知であれば、是非、私、本田ようこまでご一報いただければ幸いです。

連絡先：本田ようこ携帯 080-5137-4539